

いっしょにあそぼう！～ことばを促す～

☆ことばの発達に向けて☆

こどもが「ことばを話せる」ようになるには、たくさんの力を備えなければなりません。
ことばを理解する・表現する・実際に使いこなすには、感覚・運動・認知・社会性・意欲・集中力など様々な力が組み合わさって機能する必要があります。
ことばの発達を促すためには、こどもの生活すべてが大切な学習の場となります。



ことばとは

Language と Speech

「わかることば」
と
「言えることば」

言えることば
(Speech)

わかることば
(Language)

わかることから

ことばの表出

「ジュース」と言う

ことばの理解

「ジュース飲む？」とたずねるとうなずく

ことばに関連した体験・行動

「ジュースを飲む」という行動

Languageを豊かにしてあげることが、Speechにつながります！

ことばのビル



☆ことばの基礎になるいろいろな力

- ①十分に泣く、声を使い分ける
- ②聞こえの発達、声を聞き分ける
- ③大人と気持ちを共有できる、同じものを見る
- ④バブバブおしゃべり（喃語）
- ⑤動作のまね、ことばのまね
- ⑥話しかけられていることがわかる
- ⑦手や指の動きが器用になる
- ⑧指差し
- ⑨やりとりあそび（役割の交代）
- ⑩ごによごによおしゃべり
- ⑪動作や表情で気持ちを表す

☆こんなことも大切！☆

目を合わせて話しかける
あいさつを教える
身振りとかことばを合わせて使う
擬音語、擬態語を使う

